

とっとりの青少年

【目次】

- P1 副会長「子どもの居場所を求めて」～今こそ地域の力～
- P2 SNSトラブル防止標語コンテスト
- P3 第12回「家庭の日」絵画・ポスター入選者
- P4 第42回「少年の主張」鳥取県大会
- P5 第54回鳥取県民大会
- P6 研修会 P7 活動、会員募集 裏表紙「とりのからあげ」

No.142

令和3年3月発行

発行 **青少年育成鳥取県民会議**

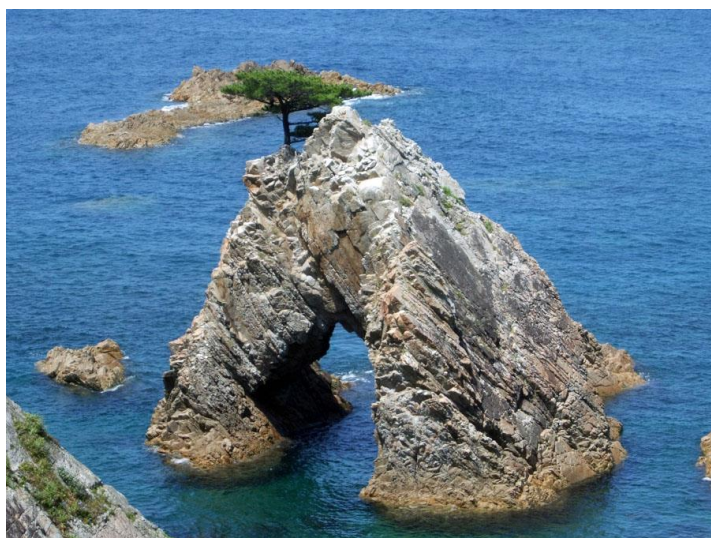
〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

鳥取県子育て・人財局子育て王国課内

TEL(0857)26-7078 FAX(0857)26-7863

E-mail : t-youth7@infosakyu.ne.jp

ホームページ : <http://tpayd.net>



鳥取県岩美郡岩美町の
「千貫松島」

鳥取藩の二代藩主があ
まりの見事さに「わが庭に
移植できたら銀千貫を与
える」との言い伝えあり。

千貫は約二千石(知行取
りならば四公六民で五千
石)

「子どもの居場所を求めて」

～今こそ地域の力～



青少年育成鳥取県民会議 副会長 奥本 範子

子どもの将来に大きな影響力をもつさまざまな格差を是正し、すべての子どもが夢と希望をもって安心して心豊かに育つことができる社会の構築が望まれます。

地域社会のなかでの子どもの居場所づくり、取り組みを発展させていくには、地域の力が必要であります。

なかでも、子ども食堂は孤立しがちな家庭が地域とのつながりをもつ場所でもあり、子どもや親の困りごとを話せる場所、そして共に「ホット」する場所であります。

又、地域の交流拠点としての可能性をもっています。

そして、ありのままの自分を迎えてくれる人や、信頼できる人に出会ったとき、子どもの人生は変わっていきます。

地域の大人たちが継続的に子どもにかかわることで、子どもの自己肯定感の回復や、大人への信頼感の醸成につながります。

子ども食堂を取り巻く状況は、食材の提供、ボランティアの支援、ネットワーク化など年々支援の輪が広がっています。

地域社会の中で、子どもの居場所づくりにあらゆる世代の人がかわり、相互に支えあう社会活動として発展させていきたいものです。

そして、持続可能な地域社会の実現を目指し、地域全体で子どもの生きる力につなげていきましょう。

☆ 青少年のSNSトラブル防止標語コンテスト

【テーマ】

「青少年を含む県民の一人一人にSNS上のトラブルに巻き込まれる危険性を理解してもらい、SNSを利用するときの意識啓発を図ること目的」として標語の募集をしました。

- (1) 募集期間 令和2年7月10日（金）～令和2年8月15日（土）
- (2) 応募総数 247編
（団体の部 7編、大人の部 25編、中高校生の部 147編、小学生の部 68編）
- (3) 審査結果 **（詳細は、青少年育成鳥取県民会議のホームページをご覧ください）**

区 分	種 別	受 賞 者	作 者
小学生の部	最優秀賞	「ふせごう」	米子市立成実小学校 5年 古都 陽和
	優秀賞	「さるのおしり」	伯耆町立溝口小学校 4年 舟越 敦生
中高生の部	最優秀賞	「ひこうきのいし」	鳥取県立米子南高等学校 3年 矢野 優衣
	優秀賞	「じょうほうもらる」	倉吉市立河北中学校 3年 加藤 あい
一般の部	最優秀賞	「あかいたすき」	鳥取市在住 島田 義徳
	優秀賞	「なしのはな」	鳥取市在住 稲村 隆英
団体の部	最優秀賞 （大賞）	「とりのからあげ」 『と』もだちがきずつく事をしない 『り』よう時間を決めよう 『の』せない個人情報 『か』きんしない 『ら』いんは相手の事を考えて送信 『あ』わない SNSで知り合った人 『げ』（ゲ）ームソフトの年れい制限を守る	「チームHOT」 鳥取市立浜村小学校 6年 奥田 泰造 田中 悠一 濱本 みな 濱本 夢羽
	優秀賞	「ひめのペガサス」	鳥取市在住 小島ファミリー

☆ 第 1 2 回「家庭の日」絵画・ポスター入選作品集

今年度の応募総数 5 7 7 点、本審査対象は 9 5 点でした。

〔小学校下学年の部〕

最優秀賞 箕蚊屋小 中橋 作人



〔小学校上学年の部〕

優秀賞 江府小 澤田 真依子



最優秀賞 面影小 森田 遥斗



優秀賞 大山西小 山崎 唯愛



〔中学校の部〕

最優秀賞 大山中 中田 花菜



優秀賞 大山中 遠藤 咲季



☆第42回「少年の主張」鳥取県大会

日 時 令和2年9月15日(火) 13:30～15:00

場 所 鳥取県倉吉未来中心

県内8校の中学校から85編の応募があり、事前審査・第一次審査を通過した12名の発表はビデオ審査により、最優秀賞は鳥取市立桜ヶ丘中学校 3年の谷口真緒さんの『母のお弁当』が受賞されました。

なお、谷口真緒さんは中国大会を突破して、全国大会まで進み奨励賞を受賞されました。全国大会まで進んだのは8年ぶりの快挙でした。

★審査結果

最優秀賞（知事杯）	鳥取市立桜ヶ丘中学校	3年	谷口 真緒	「母のお弁当」
優秀賞（県教育長杯）	米子市立後藤ヶ丘中学校	3年	波多野日南	「コロナウィルスから学んだこと」
〃（県議会議員杯）	米子市立後藤ヶ丘中学校	3年	大林 杏紅	「自分も守る」
〃（市長会長杯）	米子市立後藤ヶ丘中学校	3年	柳楽 蒼	「言葉の重み」
〃（町村会長杯）	鳥取市立河原中学校	3年	倉持 莉央	「ポジティブに生きる！」
〃（新日本海新聞社長杯）	米子市立後藤ヶ丘中学校	3年	内田 愛子	「闘う人々へ贈る感謝」
優良賞（発表順）	鳥取市立河原中学校	3年	奥田 美紗	「友達がいないと生きていけない！」
〃	米子市立後藤ヶ丘中学校	3年	石田 朝稀	「大切なもの」
〃	米子市立尚徳中学校	3年	佐藤 優羽	「平等な世界を目指して」
〃	米子市立後藤ヶ丘中学校	1年	遠藤 怜央	「コロナで気づいた家族のきずな」
〃	米子市立後藤ヶ丘中学校	3年	水町 羽菜	「普段の生活に戻るために」
〃	米子市立加茂中学校	3年	酒井洋二郎	「僕たちにできること」



最優秀賞 谷口 真緒さんの発表



ビデオによる最終審査表



表彰式

☆ 第 5 4 回「青少年育成鳥取県民大会」

日 時 令和 2 年 11 月 8 日（日） 1 3 : 3 0 ～ 1 5 : 3 0

場 所 米子市淀江文化センター（さなめホール）



■ 「青少年及び育成活動等」の顕彰・表彰式

青少年グループ、青少年団体の結成又は活動促進、青少年の育成指導に、特に功労のあった団体又は個人を表彰します。

「青少年及び育成活動等の顕彰」 <個人>

氏 名	住 所	表 彰 の 理 由
西尾 雅彦 (にしお まさひこ)	鳥取市	平成 2 0 年から青少年育成気高町地区協議会会長を務め、地域活動を通して子どもの交通安全対策や夜間見廻りなどを行い環境浄化に努めてきた。平成 1 8 年から現在まで鳥取県青少年育成推進指導員を務め青少年の健全育成に尽力された。
山岡 重隆 (やまおかしげたか)	倉吉市	倉吉市高城地区青少年健全育成協議会の役員（平成 2 3 年～令和 2 年）として、また高城子どもいきいきプラン実行委員会会長として地域の子どもの様々な体験活動を通して青少年の健全育成を図った。平成 2 5 年から倉吉地区の少年補導センター補導員とし地域貢献に貢献された。
福田 淳子 (ふくだ じゅんこ)	鳥取市	ガールスカウトのリーダーとして 3 7 年間ロールモデルとして活動し、教育活動委員として鳥取県内のガールスカウトの指導・育成に貢献された。平成 6 年度から現在に至るまで、鳥取市白浜交流センター及び障がい者施設ゾーンにおいて障がい者との交流を通じて青少年の健全育成に尽力された。

■ 講演「家族が変化し家庭教育が変わる！」

講師 前鳥取県図書館協会 会長 山田 晋 氏



☆ 研修会・意見交換会

◇青少年育成推進指導員・鳥取県青少年健全育成協力員ブロック研修会

○東部地区研修会 於)岩美町中央公民館 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止

○中部地区研修会 令和2年10月27日(火) 会場：倉吉交流プラザ
倉吉市2地区の実践活動報告、現地研修：鳥取県倉吉児童相談所見学・説明

○西部地区研修会 於)大山町 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止

◇令和2年度 青少年育成推進指導員・青少年育成アドバイザー合同研修会

日時：令和2年12月9日(水)

会場：鳥取県倉吉体育文化会館

講演：「コロナ禍の青少年育成！あなたは・・・？」

～青少年育成のこれまでとこれから～

講師：鳥取県青少年育成アドバイザー協会

新川 裕二 氏



◇令和2年度 青少年育成鳥取県民会議・各市町村民会議会長意見交換会

日 時：令和2年10月21日(水)

会 場：鳥取県倉吉体育文化会館 2階 中研修室

テーマ：コロナ禍の青少年育成活動について

活動報告：各地区、各推進指導員



◇令和2年度 サブテーマ(順不同)

鳥取市 「毎日の家族の会話でつながる家庭」

八頭町 「乳幼児期から”基本的生活習慣”の確立を目指す」

倉吉市 「“倉吉の子育て十か条”をすすめよう！」

湯梨浜町「青少年ボランティアの育成」

北栄町 「早寝早起き朝ごはん」「朝起きたら元気にあいさつ」

伯耆町 「あいさつの響き合う 伯耆町」

日野町 「地域の子どもは、地域で守り育てる」

日南町 「ねえ、聞いて。家族で一緒に語ろうよ」

大山町 「食育による規則正しい生活リズム～青少年健全育成に向けて～」

江府町 「携帯・テレビ消し、家族でふれあい楽しい食事」

南部町 「今こそ、おせの背中を魅せよう」

☆ 高校生マナーアップさわやか運動（令和2年4月・9月）

令和2年度は、緊急事態宣言下にて大人数での運動は自粛

J R西日本の駅構内と車内でマナーアップさわやか運動のアナウンス

☆ インターネット利用環境啓発活動

○ 青少年のSNSトラブル防止標語コン



テストの入賞作品（最優秀賞・優秀賞）を「家庭の日」絵画・ポスター巡回展示と併せてパネル展示

- インターネット利用環境啓発用の『とりのからあげ』（標語・QRコードによる動画再生）ポケットティッシュを県下の家電量販店、携帯電話ショップへ持ち込み、来店客へ啓発のために配布を依頼（令和3年1月から3月）
- インターネット利用環境啓発用の『とりのからあげ』（標語・QRコードによる動画再生）のクリアファイルを県下の小学6年生全員に配布（令和3年2月から3月）

《会員募集のお願い》

次代の日本を担う青少年の健全な育成を図るため、広く県内の皆様に会員のご加入をお願いします。

一人でも多くの方にご賛同いただき、活動の幅を広げていくためにも会員の皆様からのご紹介をお願いします。

《会費納入のお願い》

県民会議は、会員の皆様からの会費収入を財源として活動を行っています。来年度も納入いただきますようお願いいたします。ご理解、ご協力をお願いします。

年会費 個人・団体共通 1口 1,000円以上

《会費の納入について》

振込手数料はご負担いただきますようお願いいたします。

事務局：青少年育成鳥取県民会議

☎（0857）26-7078



と

ともだちがきずつく事をしない

り

りよう時間を決めよう



の

のせない個人情報

か

かきんしない



ら

らいんは相手の事を考えて送信

あ

あわない SNS で知り合った人



げ

げーむソフトの年齢制限を守る



【大賞】鳥取市立浜村小学校 6年 チーム「HOT」
奥田 泰造 田中 悠一 瀧本 みな 瀧本 夢羽
【作画】鳥取県立米子高等学校 美術部



令和2年度青少年のSNSトラブル防止標語コンテスト作品

青少年育成鳥取県民会議

動画作成

青翔開智高等学校

2年 前田 のぞみ

とりのからあげ動画

<http://youtu.be/me1j2VCllMg>

